

京都 洛北 春Walk 2012.4.13.

静寂な円通寺の庭園へ行きたくなって 深泥池から円通寺へ歩きました



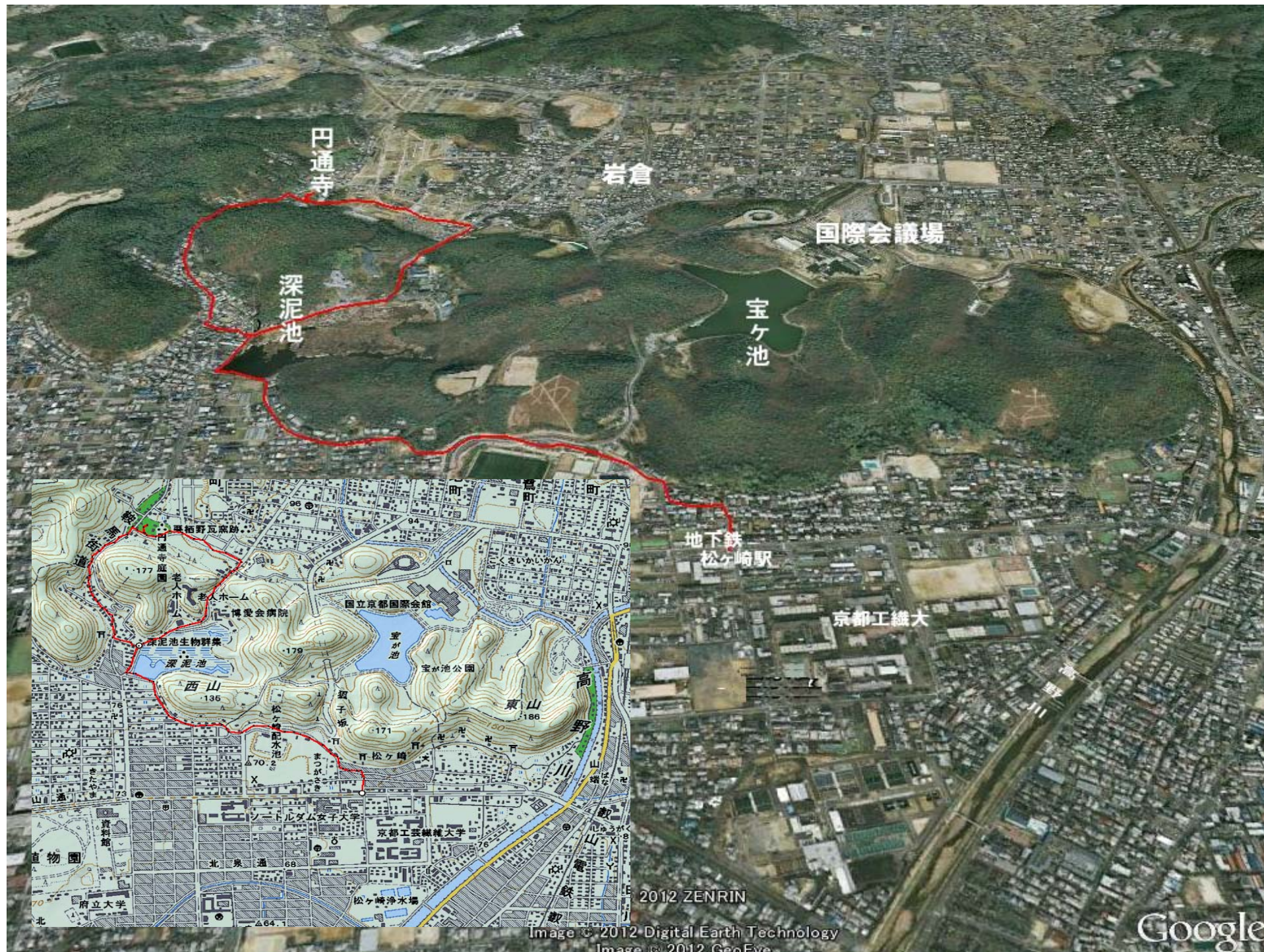


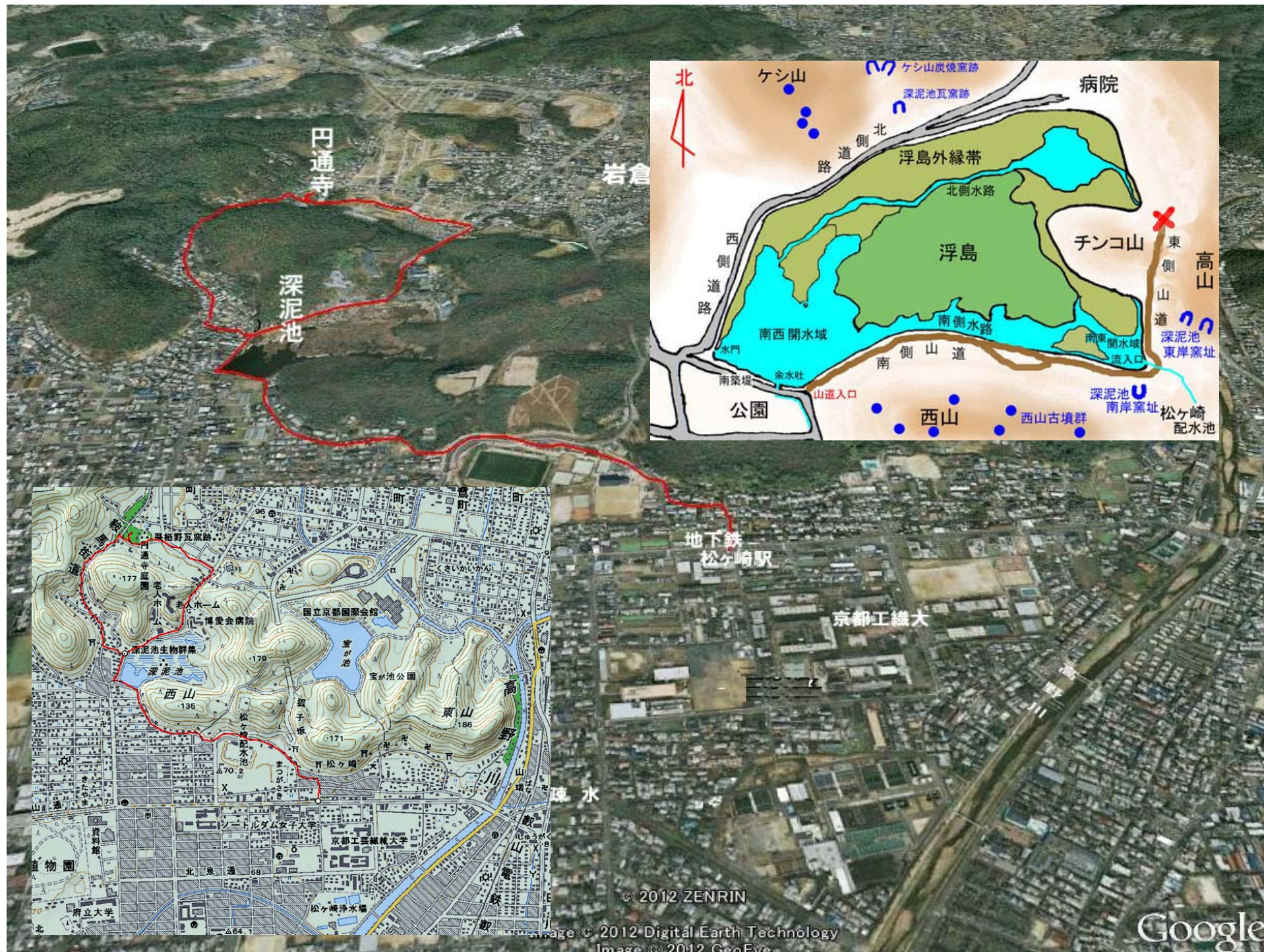
天然記念物 深泥池生物群集 の 深泥池



比叡山借景の静寂な石庭で知られる岩倉幡枝円通寺







深泥池界隈の春 深泥池から山越して 岩倉の円通寺へ 2012.4.13.





ぶらぶら松ヶ崎の「妙」の山裾を西に歩くと深泥池の縁に出る 2012.4.13.



左手に公園が整備されている深泥池の南の縁 2012.4.13.



南側から深泥池 全景 2012.4.13.



国指定天然記念物

深泥池生物群集

昭和2年6月14日指定 昭和63年12月24日名称変更

深泥池(みぞろがいけ)は、面積約9ヘクタール、周囲約1.5キロメートルの大きさで、市街地に接する場所に位置しているにもかかわらず、現在でも氷河時代以来の動植物が生息する大変貴重な池です。

京都盆地は、気候的には暖温帯に属しますが、この深泥池には、東日本北部の冷温帯に成立するはずの高層湿原が残っているため、西日本に残る数少ない高層湿原として、昭和2年(1927)に深泥池水生植物群落として国の天然記念物に指定されました。また、その後の調査で動物についても稀少なものが多く生息していることが判明し、昭和63年(1988)には、昆虫等の動物も含めた深泥池生物群集に名称が変更されました。

National Designated Natural Monument Mizorogaike Lake and its Wild Life

Designated June 14, 1927

Classification Altered December 24, 1988

Mizorogaike Lake covers approximately 9 hectares and has a total circumference of 1.5km. In addition to having an important position in the city it also holds significant value as having been a natural habitat for plants and animals since the ice-age.

While the basin formation of Kyoto city is located in a warm temperate zone, Mizorogaike Lake sustains a cool temperate zone similar to upper marshland in North-eastern Japan. As this type of lake is very unusual in Western Japan Mizorogaike Lake was designated as a National Natural Monument in 1927, because of its aquatic plant life colony. Since then studies have shown that the lake is also a habitat for rare creatures. As a result of these studies its designation was accordingly altered in 1988 to include other creatures, such as insects, living in the lake area.

◆深泥池の浮島

深泥池の不思議のひとつに浮島があります。池の中央に広がり、池全体の3分の1を占めています。この浮島の下には水の層があって、水面に浮いていることが確認されています。

浮島は水温や水質の関係で、有機物の分解が遅く、植物の遺体が分解されずに堆積し、その上にミズゴケや種々の植物が成長しています。また、池の底には分解せずに沈んで泥炭となったミズゴケが堆積していますが、その分析の結果、浮島は約14万年前から存在していたことが判りました。

この浮島は季節により上下に変動しています。夏は浮かび上がり、冬は沈んで冠水します。冬に冠水する平坦部分(シュレンケ)にはミツガシワやカキツバタ等が成長し、冬に冠水を受けないやや高い部分(ビュルテ)にはアカマツ・ネジキ等の樹木が成長しています。

◆深泥池の植物

深泥池に生育する植物の多くは、高層湿原に由来するものであるため、本来は北方系の植物であり、中には、ホロムイソウのように世界的な分布の南限である種類も成長しています。

浮島に生育する代表的な種類としては、アゼスゲ(花色:白色、花期:4月)、ミツガシワ(白色、4月)、カキツバタ(淡紫色、5月中旬)、トキソウ(淡紅色、5月後半～6月初)、イヌノハナヒゲ(赤褐色、7月～10月)、サワギキョウ(青紫色、9月後半～10月)や、モウセンゴケやミミカキグサといった食虫植物があげられます。

また、浮島周囲の水面(開水面といえます)には、ジュンサイ(紅紫色、6月下旬)、ヒメコウホネ(黄色、6月～10月)や食虫植物のタヌキモ(黄色、7月～9月)が成長しています。



空から見た深泥池(昭和五二年撮影)



カキツバタ



ミツガシワ



マコモ(冬島)



初夏の深泥池



冬のガマの穂

◆深泥池の動物

深泥池に生息する動物の代表は昆虫です。中でも、トンボ類は約60種類確認されています。また、全国的にも珍しい種類を含むものとしては、ゲンゴロウやアメンボの仲間があげられます。他にも、ヒメコウホネを幼虫の餌とするミドロミズメイガ、ミツガシワの花の蜜を吸うハナダカマギリモンハナアブ等のハナアブ類があげられます。

昆虫以外では、水中で生活するミズグモを代表とするクモ類、マガモ、ヒドリガモ等の冬鳥を代表とする鳥類が多く、特に冬場のカモ類は岸辺から肉眼でもよく観察することができます。

◆深泥池を守るために

深泥池では、動植物や、その動植物が生きていくために必要な水質を保護するため、禁止事項を定めていますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

動植物を保護するための禁止事項

- 池や浮島への立ち入り
- 植物の採取、動物の捕獲
- 釣り(または釣りのための撒き餌)
- 外から動植物を池に持ち込むこと
- その他、動植物の保護に支障のある行為

水質を保護するための禁止事項

- ゴミの投棄
- 鳥糞に餌をやること
- 採水
- その他、水質の保護に支障のある行為

調査等のために池に立ち入る場合は、文化財保護法に基づく手続きが必要となります。詳しくは京都市文化財保護課(TEL.222-4112)にお問い合わせ下さい。



正面奥 深泥池 浮島 2012.4.13.



深泥池 南側端 松ヶ崎への道 2012.4.13.



深泥池 西端 岩倉へ抜けてゆく鞍馬街道新道 2012.4.13.



深泥池生物群集 水生植物群 2012.4.13.



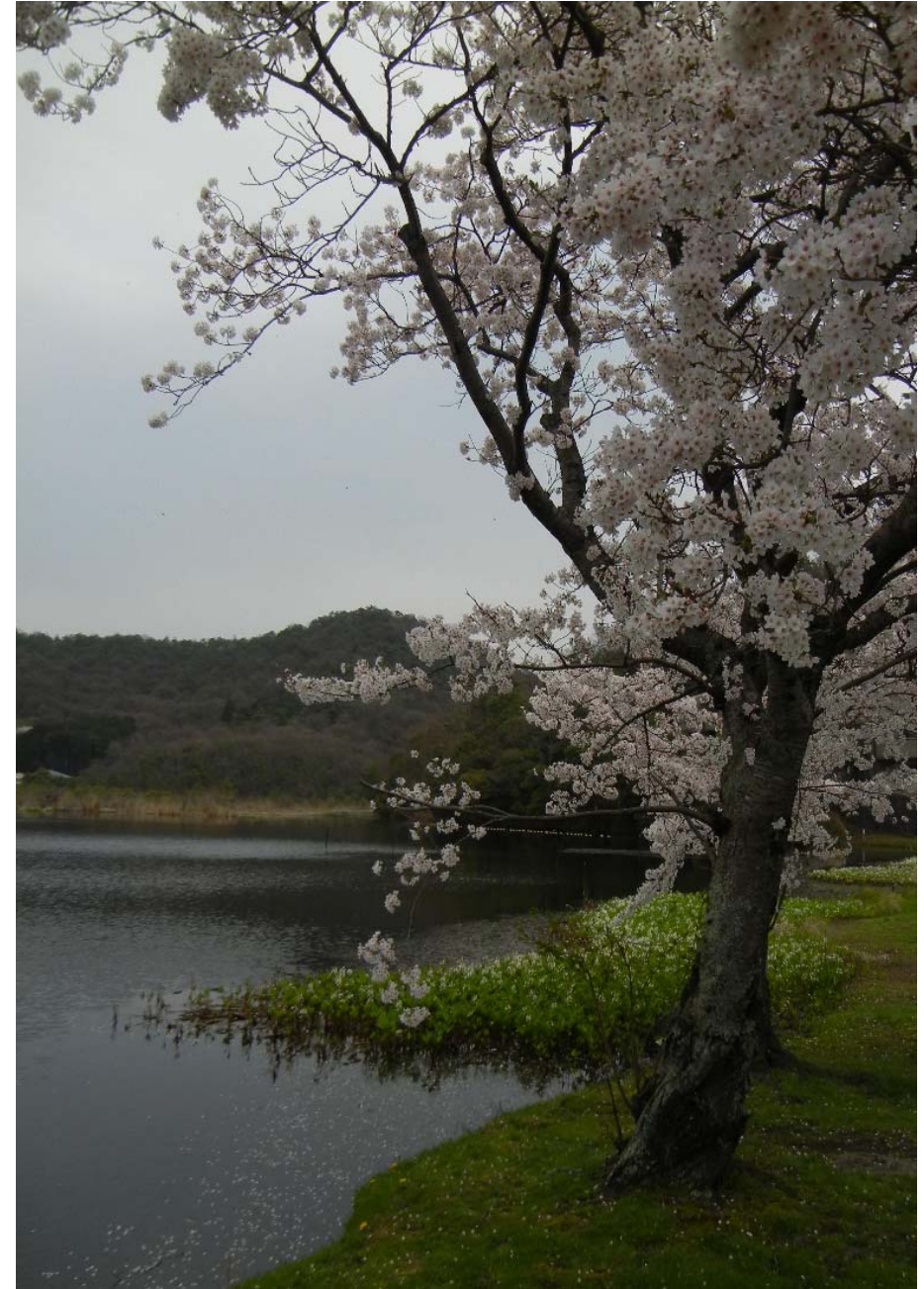
深泥池生物群集 水生植物群 2012.4.13.



深泥池生物群集 水生植物群 葦原 2012.4.13.



西北側 鞍馬街道新道からの深泥池 浮島外周帯 2012.4.13.



天然記念物 深泥池 2012.4.13.



鞍馬街道新道の峠を越えて 円通寺のある岩倉幡枝へ

2012.4.13.



鞍馬街道新道の峠に掛かる地点 振り返ると左手に広大な葎原が広がっている 2012.4.13.



鞍馬街道新道 南の上賀茂 深泥池と北 岩倉 幡枝の峠 2012.4.13.



鞍馬街道新道 深泥池と幡枝の峠 幡枝側 2012.4.13.



岩倉幡枝 円通寺 参道 2012.4.13.



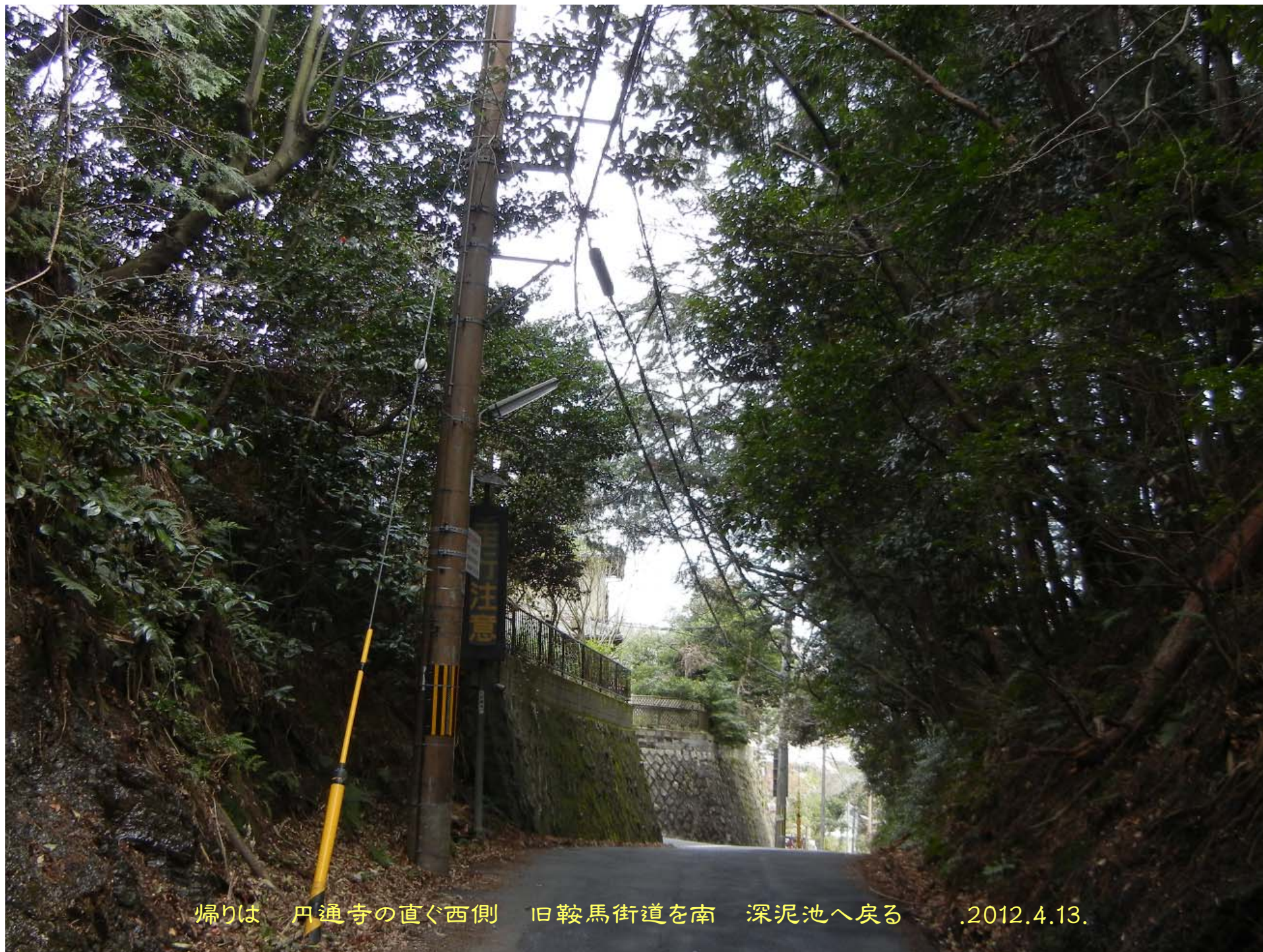
岩倉幡枝 円通寺 2012.4.13.



比叡山を借景にした静寂が保たれた円通寺の石庭 2012.4.13.



「都の富士・比叡山」 岩倉幡枝 円通寺で 2012.4.13.



帰りは 円通寺の直ぐ西側 旧鞍馬街道を南 深泥池へ戻る .2012.4.13.



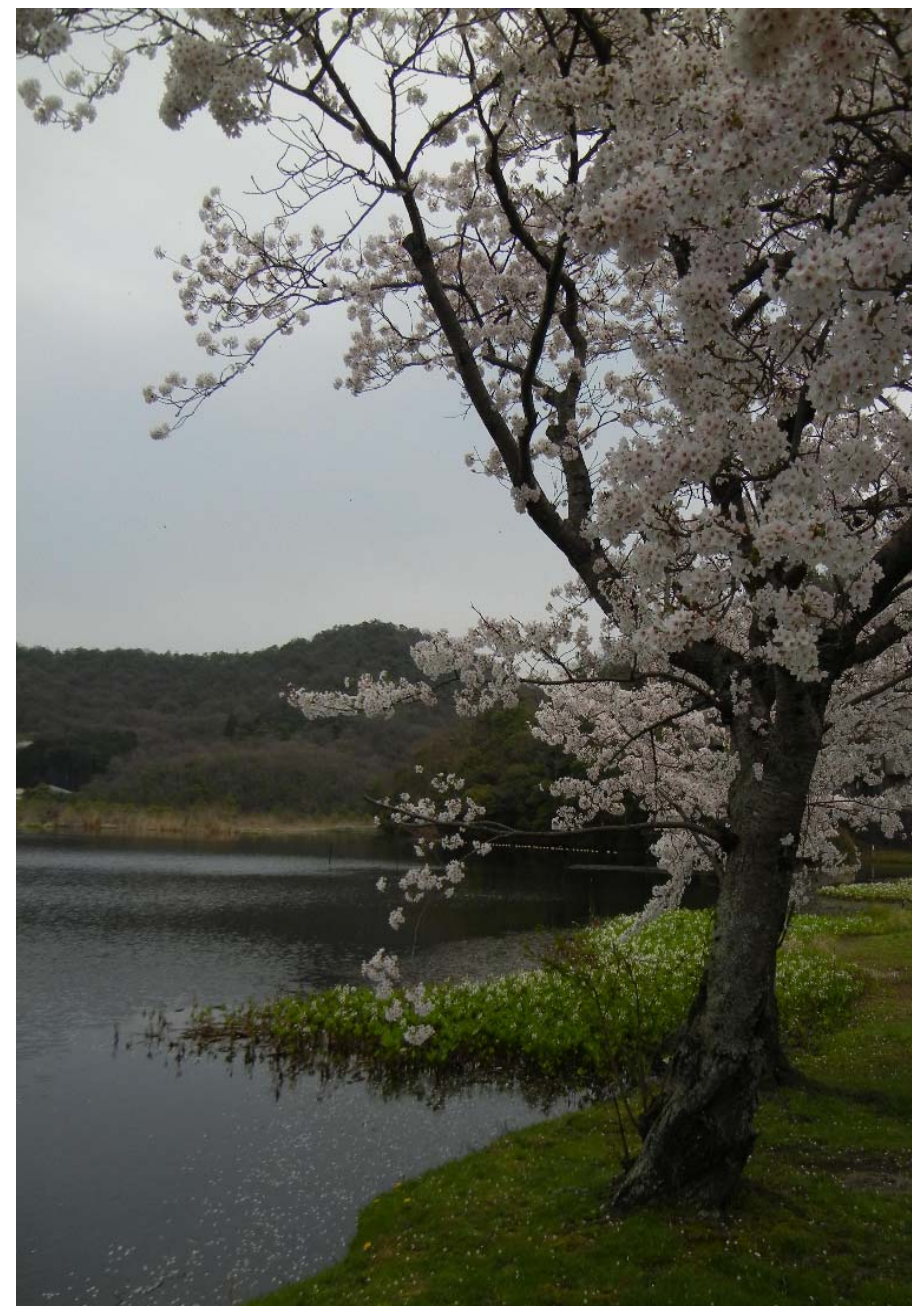
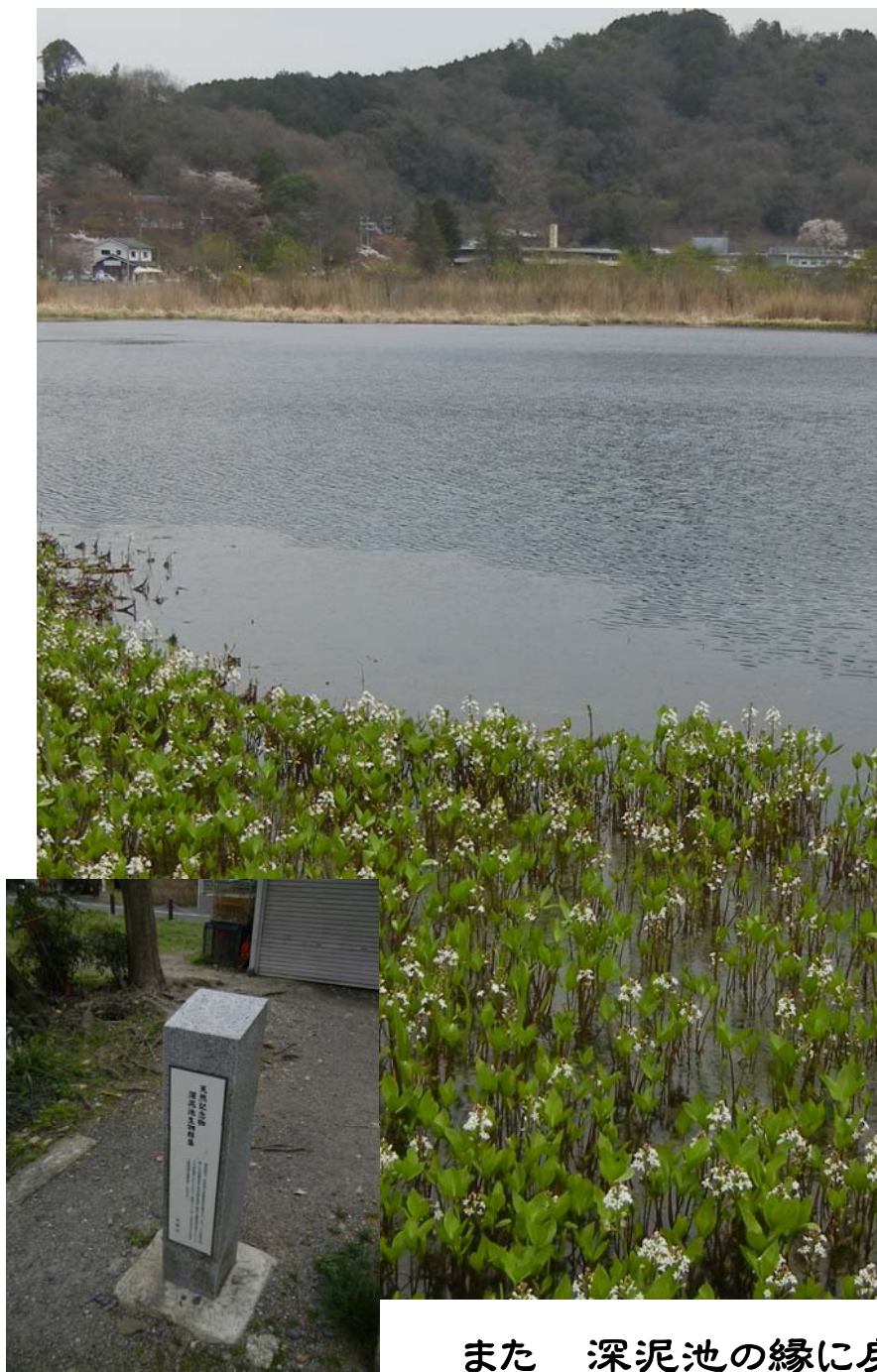
旧鞍馬街道を上賀茂本山の集落に下る 2012.4.13.



深泥池集落 貴船神社 2012.4.13.



上加茂 深泥池町 鞍馬街道の町並 2012.4.13.



また 深泥池の縁に戻ってきました 2012.4.13.



宝ヶ池 球技場横のタンポポ 2012.4.13.



宝ヶ池 球技場横のタンポポ 2012.4.13.



松ヶ崎 疎水分流岸の桜 2012.4.13.



京都 洛北 春Walk 2012.4.13.

静寂な円通寺の庭園へ行きたくなって 深泥池から円通寺へ歩きました

〔 おわり 〕

疎水

© 2012 ZENRIN

Image © 2012 Digital Earth Technology
Image © 2012 GeoEye



Google